

SUPER TECHNIC

supported by YAMAHA



BILLY SHEEHAN

PERSONAL DATA OF BILLY SHEEHAN

PROFILE

誕生日:1953年3月16日
星座:魚座
出身地:アメリカ・ニューヨーク州バッファロー
地:ブロード
眼:ブルー
職業:プロフェッショナル、ベーシスト
使用楽器名:YAMAHA RBX-CUSTOM,
BB-3000 CUSTOM
RBX-DOUBLE NECK CUSTOM

経歴

●小学生の時、ジミ・ヘンドリックスのコンサートを観に行き、大々感化され、音楽の世界に足を踏み入れる。
●最初はギターを弾いていたが、家の近所のジョー・ハッシーというベーシストに影響されベースを始める。
●高校3年の頃からバッファローで精力的にライブ活動を行う。
●"TALAS"に加入、自主制作盤を含めレコードリリース、その驚異的なベースプレイが話題となる。
●ベースプレイは、ティム・ホガードからの影響を強く受けている。
●フィル・モックの熱望によりU.F.O.のツアーにベーシストとして参加。
●'86年デヴィッド・リー・ロスのバンドに加入、アルバム"EAT'EM AND SMILE"の成功により一躍スーパースターに。'88年"SKYSCRAPER"のレコーディング直後にバンドを脱退。
●同年9月、ヤマハの招きにより来日。「ヤマハ・エレクトリック・ベースクリニック・ビリー・シェーン・スーパーベーステクニック」を開催、超絶のベースパフォーマンスで日本のファンを驚愕させる。
●来日と前後してニューグループ"MR. BIG"を結成、メンバーは、ビリー・シェーン(B)、エリック・マータチ(V), ボール・ギルバート(G)、バット・トビー(D)。'89年初頭にリリース予定のデビューアルバムに向けて、エキサイティングな音楽活動を続けている。

CUSTOM-MADE MODEL

RBX-CUSTOM (S.F., B.S.B)
今回の来日で使用した最新モデル。'87年8月受注、12月未完成。メイプル指板の上には、指しステージでもポジション確認がしやすいようにLEDサイドポジションマークを装着。

BB-3000 CUSTOM (S.F.)

TALAS時代に注文を受けて、ヤマハがビリーのための最初に製作したモデル。これで試みられた特別仕様はほとんどが、その後のカスタムベースに受け継がれている。

RBX-DOUBLE NECK CUSTOM (B.S.B)

'87年8月に受注。本人とスペック確認を続けたが'88年2月に完成したダブルネックモデル。上側のヘッドはリバースタイプ。下側はノーマルタイプ。両方のネックにLEDサイドポジションマークを装着している。なお、ビリーは下のネックを上より1オクターブ上げてチューニングしている。

HEAD ANGLE: ノーマルモデルの半分の7度で設定し、弦のテンションを少し落としている。

BODY: 生音の響きに優れたアルダー一択。

NECK: クリップは、ノーマルモデルよりも幅広(OF)で太め。ビリーのスーパーパフォーマンスを完璧にフォローするため、メイプル+マホガニースルーネックを採用。860mmロングスケール。

FINGER BOARD: 表面はフラット仕上げ。驚異のテクニックをサポートするプロフェッショナルスベックのフレットJim Dunlop #9100を採用している。21F。

BRIDGE: BB-2000と同様のハイハイブリッジBB-1Cを搭載。

PICK UP: フロントにはハムバッガー、リアにはBB-3000で定評のあるニコV採用スプリットタイプP.U. "SASB-MK II"を搭載。フロントP.U.はノーマルのベースサウンドとして重低音を重視。リアP.U.はハイを強調し、ソロプレイでの使用が多い。

CONTROL: フロントP.U.、ボリューム、アンプ、フロントP.U.、リリアP.U.、ボリューム、リアP.U.、トーン、ハイカットSWによる構成。フロントP.U.とリアP.U.を独立してコントロールできるうえ、それぞれのP.U.出力を別々にアウトプット。P.U.特性を生かしたサウンドクリエイションが可能。

STRINGS: 0.100-0.110のセットを使用している。

SET UP: 弦高は非常に低く設定。特に高音弦の高さはノーマルモデルの半分。

FINISH: SP(ショッキングピンク)、BSB(ブルーサンバースト)